

「子ども買春防止のための旅行・観光業界行動倫理規範」 (コードプロジェクト) 年次報告書



2006 年度 初回 年次報告

..... (会社名)

.....年.....月から.....年.....月まで

はじめに

「子ども買春防止のための旅行・観光業界行動倫理規範（コードプロジェクト）」の第 6 項目「年次報告を行う」は、参加企業・団体によるプロジェクトの実施状況を把握することを目的としています。初年度（プロジェクト参加 1 年目）の年次報告は、コードプロジェクト合意書の署名後の企業活動の変化を総合的にご報告いただくため、包括的な内容で構成されています。なお、2 年目以降の報告内容は、その年度内に新たに行った取り組み、および達成できた目標のみに焦点をあて、初年度の報告内容に補足・追加されてゆきます。

年次報告書を作成いただく第一儀的な目的は、参加企業・団体のみなさまが、コードプロジェクトの実施にあたる努力と実績について、自己評価をしていただくことにあります。また、こうした評価プロセスを通じて、今後のプロジェクトへの取り組みにおける改善策を明らかにしていただきます。そして、2 年目以降に作成・提出していただく簡略版年次報告書は、以下の理由から、コードプロジェクトの国際的な取り組みに、非常に重要な意味をもちます。

簡略版年次報告を作成・提出していただくことを通じて（プロジェクト運営事務局がそうした情報を公開することにより）：

- 各国の旅行業界の間で、プロジェクトの有効な取り組み・方法についての情報（Good Practices）を共有していただきます。
- 未参加の旅行会社、団体に対し、コードプロジェクトへの参加を促します。
- コード推進協議会（日本）とコードプロジェクト執行委員会（国際的なプロジェクト推進母体）※の活動の指針を提供する

※ コードプロジェクト推進協議会ならびに執行委員会は、プロジェクト実施にあたり浮き上がってきた課題や、参加企業・団体の具体的な取り組みの内容を踏まえ、各国ならびに国際的なレベルでのプロジェクトの推進を図っています。

参加企業は、本年次報告書のフォーマットに基づき、各国のコードプロジェクト推進協議会との協力のもと、プロジェクトの実施状況について随時確認をしていただきます。

尚、コードプロジェクトは、元々ECPAT スウェーデン（国際 ECPAT 支部）、世界観光機関（UNWTO）によって策定され、対象を旅行者（ツアーオペレーター）に限定しておりました。しかし、子ども買春の根絶のための画期的な手段として、ツアーオペレーターのみならず、いまや旅行、観光に携わる様々な業界の企業・団体が採用されています。こうした理由から、行動倫理規範の 6 項目は、ツアーオペレーターの業務内容に沿って作成されているため、ホテルやその他の業界で全く同じように実施することは難しいと思われます。

そのため以下の質問中、ホテル業界にはほとんどもしくは全く関係のないと思われる項目は「＊」マークで示しています。一方、ホテル業界に特に重要な項目は「＊＊」マークで示しています。中小および個人経営のホテルは、最小限あてはまる基準のみを満たすことを目指し、その他は今後の努力目標にしてください。

ご記入いただきました年次報告は、下記までご返送ください。

《返送先》

JATA 会員の皆様は

(社)日本旅行業協会(JATA) 総務部

Fax :03-3592-1268

E-mail: jata@jata-net.or.jp

OTOA 会員の皆様は

(社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)事務局

Fax :03-5470-9503

E-mail: mail@otoa.com

何かご不明な点がございましたら、いつでもご連絡ください。
ご多忙中、大変恐縮ではございますが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜お問合せ＞

日本旅行業協会 総務部 電話：03-3592-1271～3 FAX：03-3592-1268

日本海外ツアーオペレーター協会 事務局 電話：03-5470-9501 FAX：03-5470-9503

日本ユニセフ協会 広報室 電話：03-5789-2016 FAX：03-5789-2036

E メール：jcuinfo@unicef.or.jp

企業/団体の連絡先

会社名	
本社所在地（住所、電話番号、ホームページアドレス）	
代表者名	
連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）	
コードプロジェクト実施責任者（名前、連絡先）	
コードプロジェクト実務担当者（名前、役職、連絡先）	
報告書作成日	
行動倫理規範（コードプロジェクト）合意書署名日	

第1項目：子どもの商業的性的搾取に反対する企業倫理規定・方針を確立する

会社・企業方針に確立した、子どもの商業的性的搾取に反対する立場を明らかにする文言を、右枠内に記入してください。	
上記、子どもの商業的性的搾取に反対する文言は、どの企業方針として盛り込まれていますか？ • 戦略的な企業方針/企業理念の一環 • 企業の社会的責任（CSR）に関する方針の一環 • 持続可能な観光に関する特別約款 • その他（具体的に）	いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐
いつ、上記企業方針が確立されましたか？	
上記、新方針の導入について、従業員に対してどのように説明を行いましたか？	
すべての従業員に新企業方針の導入について通知しましたか？	
上記、新企業方針について、従業員からどのような反応がありましたか？	
上記、新企業方針について、ビジネス・パートナー（取引先・提携先など）に対し説明を行いましたか？ 「はい」の場合、相手企業の反応について具体的に明記してください。	いいえ ☐ はい ☐
その他のコメント	
関連資料があれば、右枠にリスト化し、添付してください。	

第2項目：出発地および目的地の両国内の従業員を教育・訓練する

研修セミナーは実施されていますか？それはいつからですか？ • 企業の本社所在国（旅行者の出発地/送り出し国） • すべての目的地（旅行者の受入国） • 主要目的地（旅行者の主な受入国）	
これまで何回研修セミナーが行われましたか？ • 企業の本社所在国（旅行者の出発地/送り出し国） • すべての目的地（旅行者の受入国） • 主要目的地（旅行者の主な受入国）	
これまで何人の従業員が研修セミナーを受けましたか？（研修を受けた従業員数と、全従業員に対する参加者の割合%を明記） • *企業の本社所在国（旅行者の出発地/送り出し国） • すべての目的地（旅行者の受入国） • 主要目的地（旅行者の主な受入国）	
研修を受けた従業員の業務の内訳を教えてください。 （それぞれ研修を受けた従業員数と、全従業員に対する参加者の割合%を明記） • *出発地（旅行者の送り出し国）で旅行者と直接接する従業員 • 目的地（旅行者の受入国）で旅行者と直接接する従業員 • 出発地（旅行者の送り出し国）で管理職レベルにある従業員 • 目的地（旅行者の受入国）で管理職レベルにある従業員	
誰が研修の準備をしましたか？	
誰が研修を担当しましたか？ • 企業外の専門家（コードプロジェクト推進委員会、法律顧問など） • 企業内の研修担当者 • 企業内の研修担当者と企業外の専門家による共同研修	いいえ ☐ はい ☐ 講師名（ ） いいえ ☐ はい ☐ 講師名（ ） いいえ ☐ はい ☐ 講師名（ ）
子どもの買春防止のための研修は、通常のサービス向上および実地訓練の一環として組み込まれていますか？	いいえ ☐ はい ☐

以下のうち、研修内容に含まれているものはありますか？	
- コードプロジェクトの概要および子どもの商業的性的搾取に反対する企業の方針についての説明 - 子どもの権利と子どもの保護に関する概要説明 - 旅行者の出身国における子ども買春に関する法制度および罰則規定 - 特定の旅行先地における子ども買春に関する法制度および罰則制度 - 具体的な事例および対処法（ケーススタディー） - その他（具体的に）	いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐
企業内で従業員用の研修ツールを製作していますか？ 例： - 研修教材 - パンフレット - チラシ - その他（具体的に）	いいえ ☐ はい ☐ 印刷部数： いいえ ☐ はい ☐ 印刷部数： いいえ ☐ はい ☐ 印刷部数： いいえ ☐ はい ☐ 印刷部数：
研修セミナーに対して、従業員からどのような感想や意見がありましたか？	
目的地（旅行者の受入国）の従業員はコードプロジェクトの活動に積極的に取り組んでいますか？	
実際に旅行者から子どもの商業的性的搾取の事例が報告された場合の従業員の対処方法について、どのような手順で行われますか（どのように準備をしていますか）？	
これまで旅行者もしくは従業員から、子どもの商業的性的搾取の実例や疑わしい事例に関する報告がありましたか？	いいえ ☐ はい ☐ 具体的に：
開催した研修セミナーの主な目的は何でしたか？	
上記の目的は達成されましたか？	いいえ ☐ はい ☐ 具体的に：
その他のコメント	
関連資料があれば、右枠にリスト化し、添付してください。	

第3項目：供給業者と結ぶ契約の中に契約両者が子どもの性的搾取を拒否することを記した条項を導入する

海外の旅行先地で業務提携をしている業者と業務上の契約を結ぶ際の契約書の中に、子どもの商業的性的搾取に関わらないこと、関わった場合には契約を打ち切ることを明記していたら、その文言を右枠に記入してください。	
海外の旅行先地で<u>新規に業務提携を開始した業者</u>（宿泊施設、地上交通機関、バーなど）との間に、上記の条項を導入した契約書を交わしましたか？ 上記の条項を導入した契約数と、全契約数に対する同契約の割合（％）を明記してください ● *企業の本社所在国（旅行者の出発地/送り出し国） ● すべての目的地（旅行者の受入国） ● 主要目的地（旅行者の主な受入国）	
海外の旅行先地で<u>既に業務提携関係があった業者</u>（宿泊施設、地上交通機関、バーなど）との間で、上記の条項を導入した契約書で業務提携を更新しましたか？ 上記の条項を導入した契約数と、全契約数に対する同契約の割合（％）を明記してください ● *企業の本社所在国（旅行者の出発地/送り出し国） ● すべての目的地（旅行者の受入国） ● 主要目的地（旅行者の主な受入国）	
小売業者との<u>覚書</u>の中に上記の文言を導入しましたか？ （新規・継続を含め、文言を導入した覚書の総数と、全覚書数に対する割合％を明記してください）	
海外の旅行先地で業務提携をしている業者に対し、コードプロジェクトに関する概要説明および企業方針について、どのように説明しましたか？	
コードプロジェクトおよび企業方針について、通知した、海外の旅行先地で業務提携をしている業者数を教えてください（通知した業者数と、業務提携関係にある全業者に対する割合％を明記してください） ● *企業の本社所在国（旅行者の出発地/送り出し国） ● すべての目的地（旅行者の受入国） ● 主要目的地（旅行者の主な受入国）	

その他のコメント	
関連資料があれば、右枠にリスト化し、添付してください。	

第4項目：カタログ、パンフレット、ポスター、航空機内映像、航空券、ホームページなど適正な手段によって、旅行者に関連情報を提供する

コードプロジェクトおよびプロジェクト参加に伴う新企業方針に関する情報を旅行者に提供していますか？ それは何時からですか？	
どのような手段で、コードプロジェクトおよびプロジェクト参加に伴う新企業方針に関する情報を旅行者に提供していますか？ ● * 旅行代理店での接客を通じて ● カタログ、パンフレット、チラシ、ポスターなど ● ホームページ/インターネット ● Eメール配信 ● * 航空機内雑誌 ● * 航空機内映像 ● * 航空券 ● 旅行者ガイドブック（旅行先地） ● 旅行先地での旅行者歓迎イベント（情報提供を含む） ● 旅行案内受付等での情報掲示板 ● ** ロビー、待合場所での情報掲示板 ● ** エレベーター内での情報掲示板 ● ** レストラン、バー内での情報掲示板 ● その他（具体的に）	いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ 印刷部数： いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ 発券数： いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐
これまで、どれくらいの数の旅行者に情報提供をしましたか？（情報を提供した旅行者数と全旅行者に対する割合%を明記してください） ● 全目的地 ● 主要目的地	
子どもの商業的性的搾取に関する企業方針に対し、旅行者からどのような反応がありましたか？	
どのような目的を持って、旅行者に対し情報提供を行っていますか？	
上記の目的はすでに達成されましたか？	
コメントがあれば右枠に記入してください。 関連資料があれば、右枠にリスト化し、添付してください。	

第 5 項目：目的地の現地有力者※に関連情報を提供する

主な旅行先地（目的地）のうち、どの国の現地有力者に関連情報を提供していますか？	
現地有力者への情報提供はどのように行われていますか？	
主な目的地のうち、子どもの商業的性的搾取に反対する活動をする上で、誰が重要な“協力者”であると考えていますか？	
現地の従業員は、現地有力者と協力して、子どもの商業的性的搾取の防止に取り組んでいますか？	いいえ ☐ はい ☐ 有力者を具体的に：
特定の目的地で、他にコードプロジェクトに参加している企業はありますか？ 「はい」の場合、他のプロジェクト参加企業と第 5 項目「有力者への情報提供」の実施について話し合ったことはありますか？	いいえ ☐ はい ☐
現地有力者に情報提供を行うときの主な目的は何ですか？	
上記の目的は達成されましたか？（具体的に明記してください）	
次年度以降、どの国（目的地）で現地有力者に情報を提供する予定ですか？	
その他のコメント	
関連資料があれば、右枠にリスト化し、添付してください。	

※現地有力者とは

現地（旅行先地）有力者とは、署名契約の有無に関わりなく、その企業・団体に現地で協力している人としてします。

例：顧客と実質的に接触する個人（レストラン・バーのオーナー、タクシー運転手など）

地域社会で影響力を持っている個人・団体（警察官、政策決定者、市長、現地 NGO の代表など）

その他、労働組合関係者、現地警察当局、税関など

第 6 項目：上記 5 項目の実施状況について年次報告を行う

コードプロジェクトの実施状況に関する本年次報告の作成のために、会社・組織内でどのように情報を集めましたか？	
今後コードプロジェクトを実施してゆくにあたり、今後、注目・注意してゆかなくてはならない最も重要な情報は何かと思いますか？	
コードプロジェクトの実施状況に関する自己評価活動の一環として、コード推進協議会（日本）のメンバーと会合を持ちましたか？ もし持っていたら、何時、何処で、誰と、を具体的に明記してください。	
その他のコメント	
関連資料があれば、右枠にリスト化し、添付してください。	

その他

コードプロジェクトの実施責任者を管理職レベルで置いていますか？ 「はい」の場合、フルタイムかパートタイムかを明記してください。 「いいえ」の場合、コードプロジェクトの実施にあたり、誰が責任者（担当者）かを明記してください。	いいえ ☐ はい ☐
コードプロジェクト実施にあたって、十分な人材を確保できていると思いますか？ 「いいえ」の場合、具体的に理由を明記し、もし解決策があればそちらも記入してください。	いいえ ☐ はい ☐
コードプロジェクトの実施ための予算が確保されていますか？	いいえ ☐ はい ☐
コードプロジェクト実施にあたって、十分な資金があると思いますか？ 「いいえ」の場合、具体的に理由を明記し、もし解決策があればそちらも記入してください。	いいえ ☐ はい ☐
その他のコメント	

次年度以降のコードプロジェクト実施における達成目標

もし現時点において、具体的な活動目標・内容が決まっていたら教えてください。

第1項目:	
第2項目:	
第3項目:	
第4項目:	
第5項目:	
第6項目:	
その他:	

記入日,

場所,

本書は、.....(会社名)の

.....年.....月から.....年.....月までの期間における

子ども買春防止のための旅行・観光業界行動倫理規範（コードプロジェクト）の活動に関する報告書である。

私,(名前)(役職) は、

.....(会社名)を代表し、上記の情報が正確であることをここに証明いたします。